

市民が安心して過ごせる避難所に関する調査

総務常任委員会

🔍調査の目的

近年、自然災害は頻発・激甚化の傾向にあり、避難所設置の蓋然性は高まり求められるニーズも複雑・多様化していることに加え、長期化した際の対応や感染症対策など避難所運営における課題は多岐にわたることから、多様化する市民ニーズへの対応と避難所の環境の向上に資するため、調査項目に決定した。

🔍調査の期間

令和7年10月～令和8年5月(委員会を11回開催)

🔍調査の手法

1 現状把握

(1) 市の担当部署から説明を聴きました(R8.1.9)

部署 危機管理室

主な内容

- ①本市の避難所の現状について
- ②本市の避難所機能の充実に向けた取組と課題について
- ③本市の避難所の適正配置に向けた取組と課題について
- ④本市の避難所の運営体制と課題について



(2) 専門家を招いて意見を聴きました(R8.2.5)

主な内容と参考人

- ①市民が安心して過ごせる避難所の在り方について
 - 東日本大震災時の福島大学避難所での体験について
 - 避難所の在り方に対する見解について
 - 他団体との連携について

福島大学行政政策学類 教授 鈴木 典夫氏



2 先進事例調査

(1) 他市町村の取り組み状況を調査しました(R8.1.26～1.28)

主な内容と調査先

- ① 民間防災集団と連携した避難所の生活環境対策について(石川県加賀市)
- ② 避難所運営における住民参画及び職員連携について(静岡県三島市)
- ③ 民間施設を活用した避難所の確保について(東京都文京区)



< 加賀市 視察 >



< 三島市 視察 >



< 文京区 視察 >

📎 調査結果の報告

本会議で、委員長が調査の報告を行いました(R8.6.18)

[委員長報告はこちらからご覧ください。](#)



📎 議会からの政策提言

議会からの政策提言として、報告内容を取りまとめ議長から市長へ、提言書を提出しました(R8.6.18)

[提言書はこちらからご覧ください。](#)

提言内容

- ① 日常生活の確保によるストレスのない居場所づくりについて
- ② 民間施設やICTの活用による多様なニーズへの対応について
- ③ 明瞭なマニュアル策定と人材育成による運営体制の強化について
- ④ 市民主体の地域防災活動による自助・共助意識の醸成について

